

### 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員と相談(公募)し、事業所独自の理念を作っています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホーム内に掲げ、いつも確認(見える所に設置)できるようになっています。	○ ミーティングの時、管理者・職員共にどのような事を実践していけば良いのかを更に話し合い取り組んでいきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議等で地域の方々のご家族の方々で、話し合いの場を設けています。入所時の契約書にも記載しています。	○ 契約書等が新しくなったのと同時に家族にもわかりやすく、記載しました。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の方々が見学にみえたり、運営推進会議にも参加をいただいています。近所の方からも野菜の差し入れをいただいています。	○ 今以上に、近隣の方に気楽に寄って頂けるよう一層努力をして行きたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敬老会の時等は声をかけてもらっています。参加できる時には参加させて頂いています。近所の公園に『ベンチ』を寄付をしたりし、交流を図っています。	○ 今後は恵那市や社協の主催するイベントにも参加をして行きたいと思います。(福祉まつり等)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域包括支援センターや社協他からの講演・勉強会の案内が来ると職員に呼び掛けて、参加できる職員は参加をしてもらいミーティングで感想等を聞き、話し合いで役立てています。	○	もっと地域の高齢者の方に役立てれるよう、話し合いをしたいです。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ミーティング等で話をしたり、外部評価の結果を踏まえ(報告・意見交換等)改善に取り組んでいます。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	おおむね、2ヶ月に1回程度で運営推進会議を行っています。会議の報告は、ミーティング等で話しています。ボランティアさんの情報、認知症の理解、接し方等、自治会の皆様にお話ししたりしています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市(福祉課)や社会福祉協議会や包括支援センターの会議等に参加。行政との互いの協力がホームの質の向上に役立っています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要に応じて中津川市に在る成年後見センター事務所を今後、活用してゆくつもりです。	○	現在までには該当する利用者様が見えませんが、必要になればもっと深く学んで行きたいです。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングでプリントを配り、防止に努めています。報告の義務付けを徹底しています。虐待防止の講演にも積極的に参加をしています。	○	運営推進会議等でも外部の話が聴けるように努力をし、一層注意を払いたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には必ず代表者と管理者職員が立ち会い、家族に話をさせてもらっています。例を挙げ、質問形式で細かく状況を把握し、双方納得した上で契約を結んでいます。	
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	比較的軽度の認知症の利用者様には意見を聞き、家族及び外部の相談員(ケアマネ・ケースワーカー・専門医)等に相談しています。	
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	電話でお話をさせてもらったり、ホームの便りを約おおむね月1回発行しています。請求書送付時に入れて報告をしています。	○  個々の利用者様の写真を同封しますと、とても喜んでくれています。中々、来苑出来ないご家族の方々からも「近況が良く判る」と喜ばれています。
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付機関や管理者等に直接話をして頂くか、苦情箱を設置しています。	○  今までは苦情等、聞いた事はありません。もう少し家族から色々聞けるよう、努力をして行きたいです。ケアプラン作成時に家族の意見を聞き、ケアプランに反映させています。
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング時や代表者が管理者に個別に話を聞く機会を設けるようにしています。	○  代表者自らが職員に声を頻繁にかけてもらえているので、話がしやすいです。職員同士でもなるべく壁を作らないよう、親睦もはかり働きやすい職場作りを目指しています。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	管理者に報告をし、調整できるように職員を確保しています。	○  緊急対応時等も事務所・管理者・代表等に一報をいれ、皆で勤務調整をしています。

岐阜県. グループホーム・恵那苑

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は少なく、離職する場合、利用者様に影響のないよう、即職員の確保にあり利用者への配慮をしています。</p>		
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>県や市での研修等には時間を調節しながら参加できる時には参加しています。近隣での講演等の案内は貼りだして参加を促しています。</p>	○	<p>常勤者・非常勤者の職員も極力『講演・研修』には参加するように声掛けをしています。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会等を活用し、他の事業所との意見交換や訪問をしています。</p>	○	<p>もう少し、交流の場ができると良いと思います。他の研修会には出来るだけ参加をしていますがグループホームのみの研修会があると一層、参加価値があると思います。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>1日の仕事の中で利用者様から離れて休憩できるようにしています。職員の希望の休暇を2～3日とってもらい、趣味や習い事等に活用してもらっています。</p>	○	<p>有給休暇もと取り易い状態になっています。(常勤・非常勤者どちらでも)</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者と管理者が将来、正社員(常勤者)ホーム長を目指して働いてもらえるよう指導し、努めています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前に家族の同意を得て、面談をさせていただいています。担当ケアマネージャー、相談員に本人の希望を『好き・嫌い』不安等、細かく聞き取りホームでの生活に活用しています。	○  場面に応じ必要であれば『疑似家族・友達・ご近所の方』になったりし、対応しています。
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前に家族に来苑していただき、話を聞いています。利用者様が一番良い方法を考え、利用者様に何か変化があった時は必ず家族に連絡を取り、相談しています。	○  必要に応じ職員と家族も一緒に利用者さまの介助に協力をして頂いています。
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネージャー、相談員及び家族と相談し、本人が一番合っている支援、必要としている支援を考えた対応に努めています。	
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所金、保証金等は一切ありませんので入所された日割りで試されたりし、約3ヶ月は様子を見て、家族と話しながら、その人に合ったサービスをし、少しずつ慣れて頂くよう努力しています。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家事全般を各利用者様のペースに合わせ、双方で協力していきながら生活支援をしています。女性の利用者様には献立の参考になる話をいただいています。	

岐阜県. グループホーム・恵那苑

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	来苑時には本人と家族水入らずでお話されたり、お茶を飲まれたり、時間の許す限り滞在して頂き、場合によっては自宅に帰られたり近くの喫茶店へ行かれています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ケアプラン等を活用し、家族の方に常に連絡を取り、利用者様の状況を説明しています。	○	利用者さまと家族が入苑されるまでギクシャクしていた関係が改善された事例も多くあります。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	一部の利用者様は年に2～3回来苑され、ゆっくりお話をされていかれます。他の馴染みの方へ年賀状や手紙を書いて頂き、送ったりしています。	○	利用者さまの馴染みのご近所の方も来苑され、一緒に外出されてみえます。
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ミーティング等で個々の状態の話し合いを常にし、努めています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後の家族が「近くに来ました」「野菜が採れたので・・・」と言ってお見えになったりします。退所後の利用者様の相談も受けています。	○	退所された家族から「空き部屋はないですか？」との問い合わせもあります。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人が納得されるまで話を聞き、管理者・ケアマネ等と解決法を家族と相談し、家族や本人の希望に応じています。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	出来る限り家族から生い立ちや生活歴を聞き出し、ケアプランに活かし、なるべく今までの暮らしに近い方法で過ごして頂けるよう、努めています。	○ 特に独居からの入所は把握がしにくいのが現状です。しかし担当相談員・民生委員等から少しでも関わりのある方を探し、情報収集をしています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	担当ケアマネ、担当医からの情報を把握し利用者様の現状維持を保てるよう心がけています。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常生活の中で個々の特徴を把握し、介護計画書を作成しています。家族の訪問時、電話等で確認・相談をさせていただいています。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	レベル低下時、介護更新等で見直しを行っています。ADL低下時には管理者やケアマネ等、家族と相談しながら対応しています。	○ 現状維持の利用者様でも3ヶ月に一度は必ず、見直し等を行い介護計画書を郵送しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日報、申し送りノート、トイレ誘導チェックに必ず記入をしているので資料として介護計画に活かしています。ミーティングでも個々の利用者様の話し合いをしています。	○	ケアカンファレンス後、ケアマネージャーがケアプランを作成し、家族に郵送→承諾 を頂き、活用している。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者が自宅に帰りたい時(家族の都合に合わせて)帰宅していただいたり、家族と外食をしてもったり、気晴らしに職員と外出したりと、個々の支援をしています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議等で、ボランティアの呼びかけをしますが少ないのが現状で、『舞台がないと・・・』と言われていたりするのと中々、頼みづらいです。消防職員の方々には年1度、指導等をしてもらっています。	○	地域の展示会・スーパー・喫茶店等にでかけている。
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の身体の状態により家族の希望を最優先し、他の事業所のケアマネに相談し、必要であれば他のサービスへの支援をしています。		
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	介護更新時、運営推進会議はもちろん参加していただき、アドバイスをいただいたり認知症の勉強会の協力や参加をしています。		



岐阜県 グループホーム・恵那苑

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族からの同意、納得して頂き受診をしています。毎月受診をし、必要であれば他の専門医に受診しています。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	開設当初から精神科のかかりつけ病院や担当医があり、相談や治療、受け入れ等、協力し合っています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	かかりつけ医の看護師の方とも長いお付き合いなので色々、相談をしながら支援をしています。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	時間を作り入院先になるべく顔を出すようにし、担当の看護師から情報を聞いています。家族に聞いたりもしています。入院時の洗濯物も家族に代わり、職員が近況確認と合わせて面会に行き、情報交換をしています。	○	個人情報の事もあり、最近では家族にしか話せないと断られる事が増えています。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合等には早めに家族、相談員、ケアマネージャー等に相談しています。場合によっては医師や家族と相談しターミナル及び入所、入院先も視野にいれて話し合っています。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者様が入院している時等、利用者様の状態を早めに見極め、ケースワーカー、担当医、家族と今後の事を話し合いながら準備をしています。	○	ターミナルケアを希望される家族もチラホラお見えになるので今後の事は担当医・ケアマネ等と相談してゆきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の施設に移る前にここでの生活状態を新しい担当者の方に細かく情報を伝達し、納得をしていただけるよう、最大限の努力をしています。	○	簡単ではありますが独自の『サマリ』も必要であれば提供しています。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者様の尊厳を尊重しながら言葉かけをし、ケース記録等の管理は慎重に取り扱うよう、ミーティング等で確認しています。職員の入社時に『個人情報を守ります』という内容で、誓約書のサインをもらっています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の無理のない様、個々に合った理解度に合わせて声掛けや誘導を支援をしています。		
52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	最低限の基本的な生活習慣の流れの中で一人一人のペースを尊重し、職員のペースにならないよう気を付けて支援しています。		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理美容は定期的に美容師に訪問していただき、整髪や口腔ケアは毎食後に行っています。利用者様が洋服を選べるように聞き取りをし、着たい物を着ていただいています。	○	美容師が2～3ヶ月に1度、訪問してくれています。美容師も認知症を理解してくれているので、髪を切る前等に声をかけていただいています。(どんな髪型が良いか等)

岐阜県 グループホーム・恵那苑

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の献立を一緒に考え、良く食べていた物や食べ慣れているものを作るようにしています。食器拭き等はやりたい利用者様には手伝ってもらっています。利用者様によっては食事の仕込みの手伝い(皮剥き・千切等)を行って来ています。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	10時、15時には利用者様に飲みたい物を個別に聞き、提供しています。お茶と等は好きな時に飲めるよう、声掛けをしています。	○	現在は酒やたばこが必要な利用者様はいませんが、希望があれば家族と相談しながら支援をしていきます。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレ誘導チェックを記入し、排泄パターンを把握し個々に合ったパットを使用しています。なるべく下着で生活ができるよう、ケアの向上を図っています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に個々の希望に合わせた配慮をしていますが、目安の曜日を決めています。(受診等がある為)		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	外出後、入浴後、仕事後には特に休める支援をしています。好きな時に横になってもらったり声掛けをし、都度聞いています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々に利用者様の好みの生活歴を活かした家事、レクレーションの役割ができており、自らが行って下さいます。		

岐阜県 グループホーム・恵那苑

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時には自分の財布を持ってもらい、本人が支払えるよう支援をしています。たまに「鞆は預けてあるね」と確認される方もみえるので、その都度、本人に見せて確認して頂いています。	○	昔と違うお札はわからなくて混乱している場合があります。最近ではこちらで支払いをする機会が増えています。お財布は通常は職員が保管しています。(トラブルを回避するため)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	草むしりや畑仕事を天気や外気温に応じて、行ってもらっています。天気の良い日には散歩に出かけています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	馴染みの方、家族、親戚の方が来苑され、喫茶店に行かれたり食事や散策にも行かれます。職員と一緒に喫茶店に行ったりイベント時(敬老会・花見・クリスマス会等)遠方へ出かける事もあります。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の場合は他の利用者様が居ない部屋に行き会話をしてもらっています。季節ごとにハガキ等を家族宛に郵送しています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	事前に連絡をもらう場合等、別室でゆっくり話ができるようにしています。時には一緒に外出されます。月に一度、必ず来苑される家族もみえます。	○	もう少し来苑(ご家族)して頂けるように働きかけをしたいです。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は皆、理解しており拘束してはいけない事をミーティング等でも都度、確認をしています。		

岐阜県 グループホーム・恵那苑

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		


岐阜県. グループホーム・恵那苑

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>家族から緊急時の連絡先を事前に数か所聞き取りをし、家族の協力をお願いし、運営者、職員とで対応を話し合っています。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎朝、同じ時間にバイタルチェックをしています。異変があれば管理者に報告し、様子をみながら病院に受診したりしています。迅速な対応ができるよう、常に心がけています。</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>全職員が夜勤時に翌1日分の薬をセットしている為、承知しています。用法等は薬局でもらい、全職員が個々の薬の内容を読んでいます。薬が変更になった場合には記録に特記を記入し申し送り等をし、解り易くしてあります。</p>	
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>毎日、体操等を心掛け、行っています。排便を自然に促す食品を取り入れるようにしています。頑固な便秘の場合は主治医に相談し、対応しています。</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後、入歯や口腔内(舌)を洗い、薬にてうがいをしています。週に1度、入歯をポリデントで洗浄しています。</p>	
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個々に声を掛け、水分を摂取して頂いています。(おやつ以外の時間以外で)食べる量や水分量はチェックをしているので把握をしています。(生活記録にも記入)食事バランスには特に気をつけています。</p>	<p>○ カロリーは栄養士がいない為、把握は難しいです。今後、市の保健センターなどを活用したいと思っています。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	各症状により、マニュアルが用意してあります。インフルエンザの接種は家族や利用者様に確認を得て接種しています。（職員も含めて全員）外出時や出勤時に手洗いやマスク着用、うがい等も全員徹底し、行っています。	○	常に通達事項や申し送り等で促し、ミーティングでも確認をしています。
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	使い捨ての手袋やペーパータオルを使用しています。なるべく生野菜を避け、温野菜にして食しています。食品は買った日付を記入し、冷蔵庫・冷凍庫に保管しています。まな板や布巾等、煮沸消毒や漂白剤等を使用しています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	一般民家を使用しているため自然に気軽に誰でも出入りができるようにしています。ご近所の方がたまたま縁側で話をされて行かれます。	○	玄関の踊り場に休憩や談話ができる様にソファを設置しました。
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一般民家の為、家庭的な雰囲気になっていて、各居室を使い自由に過ごしていただけるようになっています。遠くの山並みや庭を眺め、季節の花々が咲くのを楽しみにできるよう庭の手入れ等で工夫をしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様、個々で自分の居場所を作っているため職員が邪魔にならないように見守り等を行っています。仲の良い利用者様同士で思い思いに過ごしてみえます。		

岐阜県 グループホーム・恵那苑

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に家族に持って来てもらえるよう、声掛けをしています。(利用者様が大事にしている写真・小物・手紙他)なるべく以前の住まいの部屋に近い状態を工夫しています。	○	声掛けはしていますが中々、家族の方々は古い物を持って来るのには抵抗があるようで、どうしても新しい物を(下着や洋服等は特に)揃えて持っていらっしやるのが現状です。
84	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	室内に温度計・湿度計を設置し調節をしています。特に消臭や換気には気を配っています。冬場は加湿器を使っています。その日の天候に応じ着衣の管理もしっかりと行っています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一般民家の為、個々の機能に合わせた設備にはできませんが、手すりや滑り止めを付けて工夫をしています。段差等のある所は必ず誘導し介助をしています。	○	一般民家の段差も身体機能低下防止と考えています。
86	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各場所に判りやすい字で名称を書き、貼っている場所もあります。利用者様は長期入所の方が多く、場所等は把握をしてみえます。解らない利用者様には話等の介助もしています。		
87	○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	洗濯物を干したり畳んだりしてもらったり、外周りには自由に畑・花壇が使えるように道具が置いてあります。プランターにも季節ごとの花を買って植えてもらっています。庭に雀や野鳥が来るように餌をおいて置くこともあります。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない  日々、利用者様と接する時間があるので聞き取りをしてケアプランに盛り込み、ミーティング等で職員と話し合い、実行してもらっています。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない  毎日、楽しい雑談をしたりゲーム・体操をしています。必ず、利用者様優先のペースでできる様、心掛けています。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  何をするにも、職員のペースにならないよう常に心がけています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  「ありがとう」の声をいつも掛けていただいています。女性の利用者さまは家事をしている時や庭いじりの時には良い表情をされています。男性は戦争時の話を聞くと誇らしげに話をさせていただきます。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  すべての方とはいかないが、なるべく個々の要望を聞き、安全を第一に考え対応している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  血圧や体温測定をを毎朝同じ時間に行い、小さい変化も見逃さず気を付けています。病院との連携もとれています。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  利用者様のペースを尊重し、柔軟な対応を心掛けています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない  家族の来苑時電話等で話をしながら、要望等を聞くようにしています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない  近所の方が野菜を届けてくれたりしてくれます。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない  運営推進会議を通し少しずつですが近隣の方からの理解もされてきていると思います。
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない  年に1～2回ですが、職員同士での親睦会(忘年会も含む)を行っています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  生き活きとしている顔や笑顔を日々見ているので、満足とまでは言えませんが良いと思います。利用者様の中には「ここで最期を迎えたい」と言われる方もお見えになります。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない  苦情箱等を設置してありますが今のところ苦情等もないので、良いと思います。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

木造平屋建ての家屋を利用して、閑静な住宅街にあります。とてもアットホームなグループホームを築きあげてきました。利用者様の暮らしも長い方で8年を迎える方がみえます。末長くこの暮らしを維持してゆく為に努力を絶やさないようにしてゆきたいです。